

# 令和7年度 第2回ゼロカーボン研究会 事後調査報告

## 1. 調査概要

### 1.1. 目的

ゼロカーボン研究会に参加する自治体及び事業者等の研究会へのニーズを調査・分析し、岡山連携中枢都市圏、周辺自治体、事業者及び大学等と「ゼロカーボン社会」実現へ向けた“実現可能な事業創出”につながる研究会及び分科会を開催することを目的とする。

### 1.2. 実施日

2025年8月20日(水) 研究会終了後

### 1.3. 調査対象

令和7年度 第2回ゼロカーボン研究会の参加者27名（自治体10名、民間事業者・その他17名）を対象にアンケート調査を行った。

### 1.4. 調査方法

アンケート形式は、用紙記入、web記入の回答方法とした。

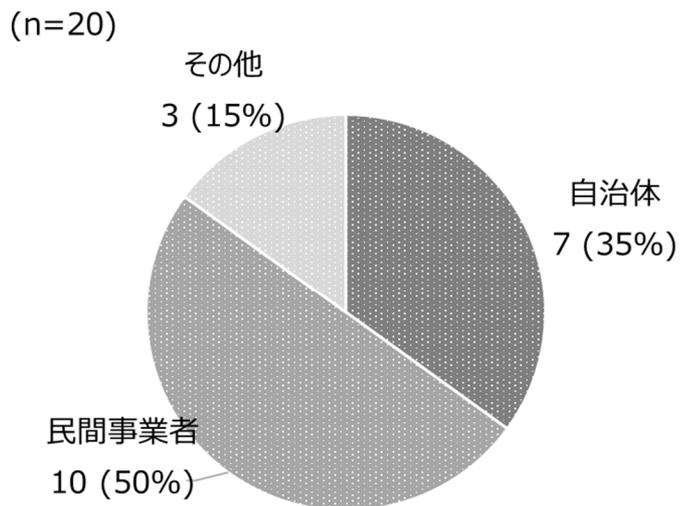
### 1.5. 回収状況

回答数：20件（自治体7件、民間事業者・その他13件）

回収率：74%（自治体70%、民間事業者・その他76%）

## 2. アンケート結果

### 1) アンケート回答者の所属区分



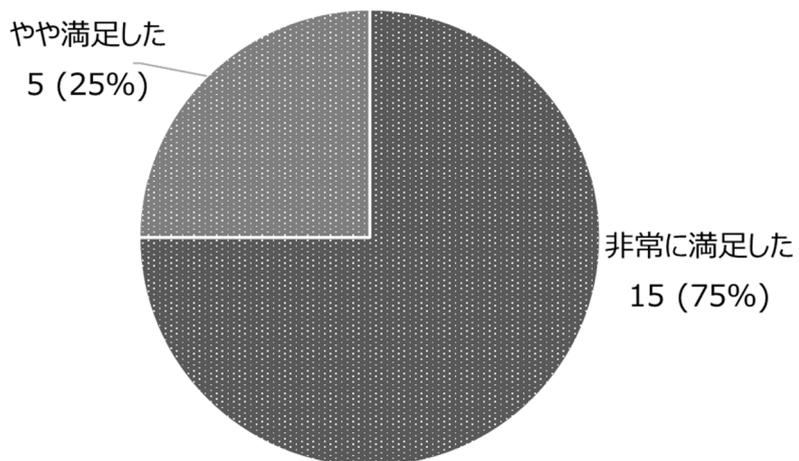
#### 【その他の内容】

- ・ 株式会社（1件）
- ・ 中国四国地方環境事務所（2件）

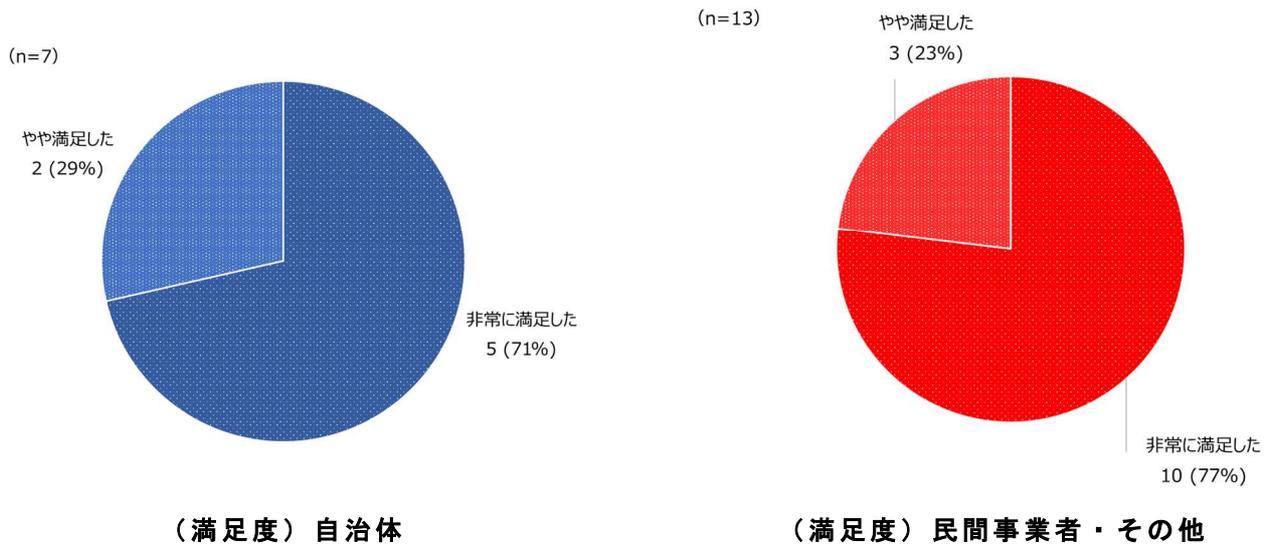
### 2) 今回の研究会に対する満足度を教えてください。

- 全体の満足度は「非常に満足した」が最も多く、全体の75%であった。

(n=20)



回答者：全体



3) ゼロカーボン研究会では年末にかけて大規模イベントを企画しています。講演やパネルディスカッションで聞いてみたいテーマがあればご記入ください。

- 成功事例のセミナー
- サステナブルファッション、ブルーカーボン
- 資源循環
- 県内での取組事例
- 岡山市内、岡山県内における脱炭素の取り組み事例紹介等

4) 講演やパネルディスカッション以外に、どのようなプログラムがあると参加したいと思いますか。

所属区分	企業間マッチングや交流会	脱炭素に関するサービスの展示ブース	個別相談コーナー (脱炭素関連業者/金融機関など)	単位(件)	
				無回答	
自治体	2	4	1	1	
民間事業者・その他	8	5	0	1	
全体	10	9	1	2	

5) その他、ご意見・ご感想などあればご記入ください。

- カードゲームを通して、腹落ちするととても良い学びができました。ありがとうございました。
- 非常に勉強になりました。ありがとうございました。
- 脱炭素について、ゲームを通して経済や環境のことを考えながら対策を練ることができました。ゴールを達成することだけ考えてしまっていたので、他組織とのコラボレーションが大事だと気づけました。ありがとうございました。

- カーボンニュートラルへの仕組みも分かりよかった。
- ゲーム内で自社のことしか考えていませんでしたが、他社の利益も考えて行動することが結果的に自社の利益になることに気付いて、当社でも考える必要があると思いました。ありがとうございました。
- 色んな役割があったことで、単独で取組むのではなく社会全体の連携が欠かせないこと、そうすることでより大きい効果が出せるということが分かりました。他社・他業種・社会の動きを知るための情報収集の大切さも感じました。
- カードゲームを通して社会全体としての脱炭素の取組による影響・動きをみることができ、普段脱炭素は目に見えず分かりにくさを感じていましたが、とても勉強になったと思います。

以上